

一般質問



水野 千代子 議員

ヘルプマーク入りカード導入を

周知・普及に努めていきたい

ヘルプマークは、援助が必要な方のためのマークである。ヘルプカードは、内部障がいや難病など、外部援助が必要な方が、災害時や緊急時などに、支援内容を記入してあるヘルプカードを提示することで、周囲の方に支援を求めるものである。

国は、ヘルプマークを案内用図記号を想定する国内規定（JIS）に追加することを公表しているが認識は。

健康福祉部長 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に今年7月20日に決定。

国・県の導入状況は。全国は、ヘルプマーク・ヘルプカードは東京都・京都府・青森・福島県と札幌市で実施。

県内は、ヘルプマーク導入は長久手市のみ。ヘルプカード導入は長久手市・一宮・常滑・岩倉・みよし市と武豊町。マタニティマーク同様、ヘルプマークの周知を。

広報・ホームページ・町内関係施設などを利用して、周知を図っていきたい。

ヘルプマークの導入を。ヘルプカードの導入を。周知もあわせ、利用できよう普及に努めていきたい。



導入が待たれるヘルプカード（長久手市HPより）

学校給食費の無償化を  
先進事例を研究し検討

県内では、岩倉・安城市が18歳未満の第3子以降を無償、大口町は半額、岡崎市では4月のみ無償を実施。

朝ごはんを食べていない子どもたちの調査は、週1回以上朝食をとらない児童生徒は、560人程度と推察。

給食費の滞納は、平成29年4月1日現在、19世帯25人分、90万3362円。

無償化した場合の予算額は、小学校約1億1900万円、中学校約6100万円、合わせて約1億8000万円。

学校給食費の補助制度・無償化を。近隣市の動向や先進事例を研究し、検討していく。

通知が届いておらず、詳細を承知していない。

学校給食費の補助制度・無償化している自治体が増えている。国・県の現況は。全国では約60の自治体

一般質問



足立 初雄 議員

任意団体が植栽した木の管理は

基本的には地元管理でおこなう



光明寺川の桜並木

緑は、住み良い環境を提供してくれる幸田町の財産である。

今後の管理体制を問う。緑の募金緑化運動の内容や実績とその評価は。環境整備の推進で、区・学校・団体購入の花苗などに補助し、緑の大切さを。

を次世代に受け継ぐ。幸田町緑の基本計画においての位置づけは。民間がおこなう事業か。建設部長 民間における積極的な緑化推進事業。環境整備部長 民間・企業・行政が一体となり推進する事業。光明寺川プロジェクト

の内容は。

幸田小学校4年生の総合学習と光明寺川を美しくする会共同によるめだかの放流・菜の花栽培。道路や河川などに任意団体が植栽した樹木の管理は。

基本的には、地元管理でおこなう。住み良い環境維持の体制を構築すべきではないか。

公共用地の緑化木管理は、住みやすい環境を維持する方法を検討。

最悪の事態を想定した対策を  
大規模災害時は全員招集で対応

消防庁告示の一消防力の整備指針」と比較して、昨年創立40周年を迎えた本町の消防力を問う。消防ポンプ自動車の台数は、基準を満たしているか。

消防署に2台で充て率は66・7%、消防団には4台で100%。消火栓の数や能力は、294か所。消火栓が主たる消防水利。高層マンションに対するはしご車の消火能力や救助活動は。はしご車が届かない範囲は、署員が避難階段を利用し救助。

救急自動車は3台で対応できるか。充足率100%で、現場へは消防車両も同行。

消防職員の数、総数規定を満たしているか。56人で、整備指針充足率は54・4%。

職員の健康状態への気配りは。勤務状態を観察把握し、快適な環境整備に努力。

最悪の事態を想定した対策を。大規模災害時は、全員招集で対応。

消防団との連携は。意見交換を実施し、連携強化に努めている。